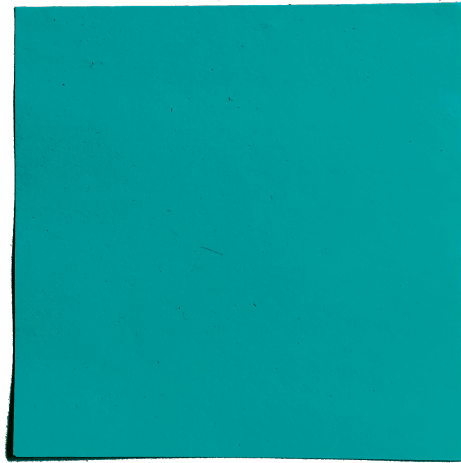


デザイン図書館というデザイン

Designing a Design Library

テクノロジーの発達とともに、我々を取り巻く情報環境はもとより、「情報」という概念そのものが大きく拡張しつつある今、「高次のデザイナー」を支援する図書館はどうあるべきか？このセミナーでは、海外の大学図書館に関するトレンドや事例を通して、誰もがクリエイターになり得る時代の大学図書館のありかたを考える。



2019年 10月 21日 [月] 16:30-18:30

[場所] 九州大学大橋キャンパス デザインコモン2F (福岡市南区塩原4-9-1)



市川 文子 Fumiko Ichikawa

株式会社リ・パブリック共同代表。慶応義塾大学大学院修了。ノキア社にて約10年間UX・エキスパートとして実態調査の設計とディレクション、端末づくりを手がけた後、株式会社博報堂イノベーション・ラボを経て現職。豊富なリサーチ経験を元にイノベーションの生態系の研究と実践を手がける。



増井 尊久 Takahisa Masui

丸善雄松堂株式会社 Research & Innovation 本部ソリューション開発部企画開発担当課長。シカゴ大学大学院修了。卒業後は日本でデジタルアーカイブの商品開発に従事。現在はファブスペースを中心に、図書館利用者または学習者を情報のクリエイターとして支援する学習空間の構築に取り組む。

[申込み] ご関心のある方はどなたでも自由に参加できます。予約不要ですので当日会場へお越しください。

[お問合せ] 古賀 徹 (九州大学大学院芸術工学研究院) toru@design.kyushu-u.ac.jp

九州大学大学院芸術工学研究院は、デザインの体系化を目的としデザイン学の基礎論に取り組んでいます。

[共催] 九州大学大学院芸術工学研究院・芸術工学部未来構想デザインコース・芸術工学図書館